

【大矢梨紗子】（平成27年度修了）

英語高度職業人コースに入学したきっかけは、特定の分野を研究したいという意欲があったわけではなく、「自分の何かを変えたい」という漠然としたものでした。学部卒業から数年が経ち、商社勤務を経験したのち英語教室の講師として働いていた私は、英語を教えることのやりがいと面白さを感じながら、自分のフィールドをもっと広げたいという思いを抱いていました。そんな時に出会ったのが現職社会人のリカレント教育に力を入れているという「英語高度職業専門人コース」でした。願書提出の期限まであと1ヶ月を切っていましたが、受験を決意。幸運なことに合格し、そこから3年間本当に充実した日々を過ごすことができました。英語で行われる専門科目の授業や、通訳・翻訳などの実技演習はどれも刺激的で、知的領域の広がりを感じながら楽しく取り組みました。それはおそらく、熱心に指導してくださる先生方と、一緒に切磋琢磨しあった院生仲間たちの存在があったからだと思います。大学院の授業はほとんど少人数制のため、自分が発言する機会も多く、問題意識を高く持つことの大切さを実感しました。物事を様々な方面から眺めて分析する姿勢も身につきました。

大学院生活を振り返って感じることは、人との出会いの大切さです。私は、ある院生との出会いがきっかけとなり、修了後は教職の道に進もうと決意、大学院で英語の教員免許を取得しました。また、指導教員である松岡光治先生には、修士論文のテーマの設定から研究の進め方まで細かく指導をいただき、教員採用



試験の際にもアドバイスをいただきました。これほど恵まれた環境で充実した3年間を過ごし、自身のキャリアパスの新たな方向性を見出すことができたのも、本当にたくさんの素敵な出会いがあったからだと感じております。関わってくださった全ての方に感謝申し上げます。

修了後は、名古屋市内の私立・東海高校で英語教員として働くことになりました。授業中に茶々を入れてきたり鋭い質問をしてきたりと、なかなか手ごわい生徒たちですが、やりがいを感じられる環境ですので、大学院での学びを教育現場に還元し、これから未来のある生徒たちの背中を押していける教員になりたいと思っております。今、受験を考えておられる方、ぜひ可能性を信じて扉を叩いてみてください。アカデミックな面において、人生において、有益なものが得られるに違いありません。

2016.04.08